

クリタ株主通信

# 株主の皆様へ

2020年3月期 第2四半期  
2019.4.1～9.30



## 【目次】

トップインタビュー	1
特集 価値創造のあゆみ	3
クリタ教室	5
2020年3月期第2四半期 決算ハイライト	7
2020年3月期第2四半期 セグメント別ハイライト	8
トピックス	9
会社情報・株式情報	10
株主インフォメーション	11

## 中長期的な成長と収益の基盤づくりのため、 ビジネスモデルおよび組織の変革に 取り組んでいます。

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
クリタグループの2020年3月期 第2四半期累計期間の連結業績、そして  
2年目を迎えた中期経営計画「MVP-22」の進捗について、ご報告します。



代表取締役社長

門田 道也

### Q1 2020年3月期 第2四半期累計期間の 連結業績はどのようなものでしたか？

当第2四半期累計期間は、2019年3月に買収したU.S.ウォーター・サービス、Inc.や2019年5月に買収した米国のアビスタ・テクノロジーズ、Inc.と英国のアビスタ・テクノロジーズ（UK）Ltd.を新たに連結対象に加えたことで、水処理薬品事業の受注高が大幅に増加しました。一方、水処理装置事業では、中国や韓国の電子産業向けで水処理装置の需要が低下したことにより受注高が減少し、全体の受注高は微減となりました。売上高は、新規連結の影響と水処理装置の受注残からの順調な工事進捗により、増加しました。

営業利益については、超純水供給事業用設備の一部売却に伴い固定資産売却益を計上したことや、前年同期において水処理装置の生産がひっ迫した中で発生した一時的な追加原価の影響がなくなったことから、大幅な増加となりました。

## Q2 中期経営計画「MVP-22 (Maximize Value Proposition 2022)」の2年目の 取り組みと進捗に関して聞かせてください。

「MVP-22」計画の2年目に当たる2020年3月期は、クリタグループの中長期的な成長と収益の基盤づくりにおいて最も重要な期間と位置付けており、現在、この基盤づくりのために、ビジネスモデルやビジネスプロセス、ならびに従業員の意識も含めた組織の変革に取り組んでいます。

まず、ビジネスモデルの変革については、鉄鋼、石油精製・石油化学、紙・パルプ、電子といった産業の大口のお客様向けに、サービス契約型モデルの開発と提案を進めています。2020年3月期は開発したモデルの有効性を見極め、お客様の現場への適用実績を増やしていきたいと考えています。

また、組織の面では、大口のお客様のみならず、中小規模のお客様のニーズも効率的にカバーするため、国内の営業体制も変革しました。具体的には、従来の2営業本部体制から1営業本部体制に変更し、お客様視点で市場別・地域別の体制を一層、推し進めた形での展開を行っています。

さらに、海外における事業基盤整備では、北米におけるM&Aの成果を確実なものとするためのPMIIに取り組んでいます。U.S.ウォーター社とフレ蒙特・インダストリーズ, LLCに加え、クリタ・アメリカInc.の生産・購買・販売機能の統合により効率化を図るとともに、2019年5月に買収したアビスタ社のRO膜薬品の技術と事業モデルを展開することで全米における総合ソリューションの提供をめざしています。

## Q3 創立70周年を迎え、クリタグループは 今後どのような姿をめざしますか？

クリタグループが長期的にめざすのは、企業理念が示す通り、社会との共通価値を創造し続けることです。水と環境に関わる課題にソリューションを提供し、社会と産業の発展に貢献することこそクリタグループの存在意義です。「MVP-22」計画においては、お客様の製造プロセスやユーティリティを深く理解し、お客様が気付いていない価値、クリタだけが提供できる価値を創造する“水と環境の独創的価値の創造者”となることをめざしています。こうした価値の創造を通じて、クリタグループが社会から存在価値を認めていただけるよう努めていきます。

## Q4 資金の使い道と株主還元について 聞かせてください。

株主の皆様からお預かりした資金は、投資の規律を守りながら、成長が見込める有望事業に優先的に振り向けています。当第2四半期累計期間においては、超純水供給事業や精密洗浄といった事業向けに積極的に設備投資を行いました。また、海外において、RO膜薬品の分野で独自の技術と事業モデルを持つアビスタ社の買収も行いました。

中間配当については、日ごろの株主の皆様のご支援にお応えするため、前年同期比4円増の1株当たり31円とさせていただきます。今後も、配当方針の通り、できる限り増配の継続に努めていきます。株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

2019年11月

クリタグループの企業理念には、創業時からの精神と、事業を通じて社会との共通価値の創造に取り組む意志が表現されています。クリタグループは、水と環境の分野でお客様や社会が抱える課題に対してクリタならではのソリューションを提供することで、企業理念の実現と持続的な成長をめざしています。

1991年

### 土壌浄化事業を開始



企業理念の実践として長期的な環境問題への取り組みを模索する中、地球環境保全につながる土壌浄化分野に事業を拡大

2002年

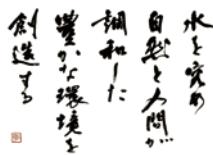
### 超純水供給事業を開始



お客様工場内に設置した水処理設備をクリタ自身が所有した上で、メンテナンスや運転管理を行い、超純水を供給するサービス契約型の事業を開始

1989年

創立40周年を機に、  
企業理念を制定



クリタの存在意義と事業の指針を明確にするために制定。水の本質を追究することで、新しい価値を生み出し、社会に貢献していく思いを確認

1994年

### 沖縄県海水淡水化施設事業に参画



慢性的な渇水地域となっていた沖縄県において、当時、国内最大規模となる日量4万m<sup>3</sup>の海水淡水化施設の逆浸透設備を受注

売上高の推移

1989年

1995

2000

2005

2015～2019年

欧米におけるM&A



欧米における総合ソリューション提供に向けて、事業基盤の構築と技術の獲得を目的としたM&Aを実施

2018年

国内最大規模の縦型乾式メタン発酵施設が完成



廃棄物処理の過程で発生するバイオガスを燃料として有効利用する「縦型乾式メタン発酵技術 (KURITA DRANCO PROCESS®)」を採用した施設が完成

クリタのCSVについて、次ページ「[クリタ教室](#)」で詳しく解説します。



2003年

排水100%回収・再利用を実現



液晶工場の製造工程で使用された超純水を回収し、蒸発する水以外はすべて再利用するという、水の100%循環利用を実現

2018年4月1日

「MVP-22」計画をスタート

CSRを経営の中核に位置付け、社会との共通価値の創造 (CSV) の実現に向けて、より戦略的に事業活動を展開

2018年1月1日

「CSRに関する方針」を制定

クリタにしかできないCSRをめざし、企業理念の実現に向けて、7つのテーマから成る「CSRに関する方針」を制定

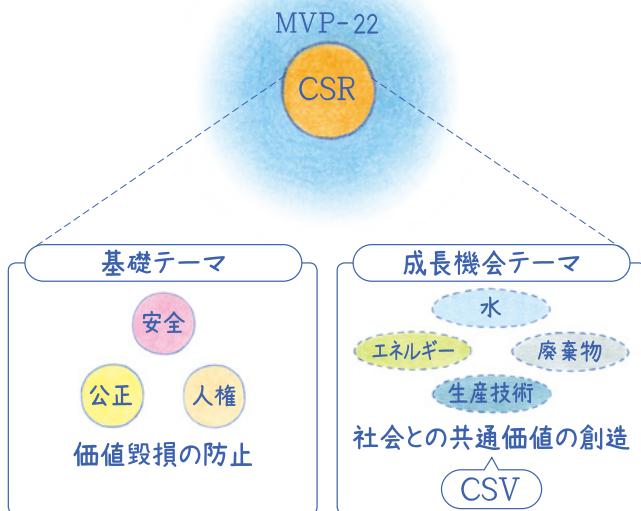
2010

2015

2019

# クリタ教室

クリタグループの推進力となる経営施策や事業、  
独自技術について、わかりやすく解説していきます。



持続可能な開発目標 (SDGs)



クリタの「CSV」の  
考え方を教えてください。

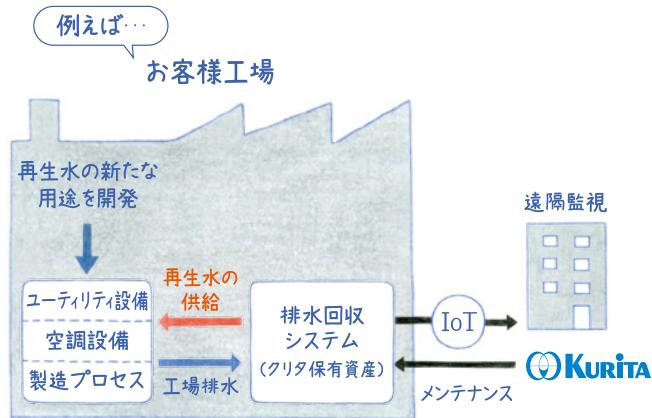
クリタグループは、2018年1月に「CSRに関する方針」を制定し、重点的に取り組むテーマと2030年におけるあるべき姿を定めました。中期経営計画MVP-22 (Maximize Value Proposition 2022) においてもCSRを中核に位置付けています。

CSRに関する方針は、クリタグループの価値毀損を防止する「基礎テーマ」と、社会との共通価値の創造につながる「成長機会テーマ」の2つから成り、クリタは「成長機会テーマ」に定める「水資源の問題を解決する」「持続可能なエネルギー利用を実現する」「廃棄物を削減する」「産業の生産技術を進歩させる」の4つのテーマを「CSV」と捉えています。

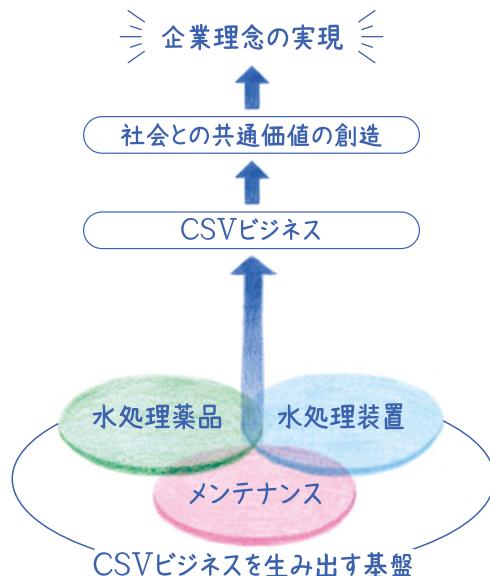
クリタはどのように「CSV」に取り組んでいますか？

クリタは、従来に比べ節水・CO<sub>2</sub>排出量削減・廃棄物削減に大きく貢献する商品、技術、ビジネスモデルを「CSVビジネス」と定義し、これらの開発とお客様への提供を通じてCSVを推進しています。CSVビジネスの選定基準は、①従来の技術や競合する技術に比べて効果が大きい、②既存技術の新市場適用もしくは新規技術である、③持続可能な開発目標 (SDGs) が示す行動計画に貢献する、です。CSVビジネスは、その優位性を係数化し、採用実績と掛け合わせて、お客様における環境負荷低減量を算出しています。

CSVビジネスは、より優位性の高い商品、技術、ビジネスモデルの開発状況に応じて、継続的に見直されます。



### 再生水の新たな用途開発と安定した水処理の実現



Q CSVビジネスの事例にはどのようなものがありますか？

A 例えば工場排水の再生水供給契約や蒸気使用量削減契約をはじめとしたサービス契約型モデルがあります。再生水供給契約は、クリタが排水回収システムを所有した上で、お客様の工場排水を回収・リサイクルし、再生水として供給します。工場全体の大幅な水回収率の向上と安定した水処理を実現して、水資源問題の解決やお客様の人手不足の解消に貢献します。蒸気使用量削減契約は、製紙工場の生産ラインで紙の乾燥工程に利用する蒸気を削減し省エネルギー効果を高めます。従来の水処理薬品や水処理装置の「モノ」売りではなく、ソリューションを「コト」売りすることにより、社会的な価値を提供すると同時に継続的な収益を生み出します。

Q CSVビジネスにおける今後の展望を教えてください。

A 「“水”を究め、自然と人間が調和した豊かな環境を創造する」というクリタグループの企業理念は、事業を通じた、社会やお客様との共通価値の創造をうたったもので、水と環境に関わる課題を解決するCSVビジネスは、まさに社会との共通価値を創造するものです。

クリタはこれからも水処理薬品、水処理装置、メンテナンスの技術とノウハウを活かして新たなCSVビジネスの開発に取り組みます。さらに、開発したCSVビジネスをより多くのお客様の現場に適用することを通して、事業の収益性向上と企業理念の実現をめざします。

(億円)

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	前年同期比
<b>業績</b>			
受注高	1,396	1,378	△1.3%
売上高	1,265	1,318	+4.1%
営業利益	81	185	+127.5%
税引前四半期利益	83	188	+126.3%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	58	135	+133.6%

(億円)

	2019年3月31日	2019年9月30日	増減
<b>財政状態</b>			
流動資産	1,511	1,559	+48
非流動資産	2,075	2,319	+244
資産合計	3,587	3,878	+291
流動負債	731	945	+213
非流動負債	464	489	+25
負債合計	1,196	1,433	+238
資本合計	2,391	2,445	+53
負債及び資本合計	3,587	3,878	+291

(億円)

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	増減
<b>連結キャッシュ・フロー</b>			
営業活動によるキャッシュ・フロー	273	139	△135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△273	△353	△80
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54	244	+298
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△10	△7
現金及び現金同等物の増減額	△56	20	+76
現金及び現金同等物の期首残高	605	355	△250
現金及び現金同等物の四半期末残高	549	376	△174

## 国際財務報告基準 (IFRS) の適用について

当社グループは、2020年3月期第1四半期より国際財務報告基準 (IFRS) を適用しています。前年第2四半期および前連結会計年度の諸数値についても、IFRSに準拠して表示しています。

※金額は億円未満を四捨五入して表示しています。

## 【業績】

- 水処理装置事業は海外での前期の複数の大型案件の売上計上の反動などにより減収となったものの、水処理薬品事業は米国子会社2社および英国子会社の新規連結などにより増収となり、全社では増収。
- 超純水供給事業用設備の一部売却などに伴う固定資産売却益の計上に加え、前期にあった事業譲渡損失の計上がなくなったことなどにより営業利益以下の各利益が大幅に増加。

## 【財政状態】

- 現金及び現金同等物の増加や、増収に伴う営業債権及びその他の債権の増加により、流動資産が増加。
- 超純水供給事業への設備投資による有形固定資産の増加や北米および欧州における買収により、のれんが増加したことから、非流動資産が増加。
- コミットメントラインの実行により流動負債が増加。

## 【連結キャッシュ・フロー】

- 営業活動では、税引前四半期利益、減価償却費及び償却費などにより資金が増加したのに対し、棚卸資産の増加や法人税等の支払いにより資金が減少。
- 投資活動では、有形固定資産取得、事業買収に伴う支出、関係会社株式・出資金への支出に資金を使用。
- 財務活動では、配当金の支払いで資金を使用したのに対し、短期借入金の増額により資金を得た。

詳細は当社ホームページでご確認ください。

URL <https://ir.kurita.co.jp/>

栗田工業 IR

検索



## 水処理薬品事業

(億円)

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	前年同期比
受注高	525	586	+11.6%
売上高	519	585	+12.7%
営業利益	24	64	+163.4%

## 国内 受注高・売上高

顧客工場の省エネルギー稼働に貢献する総合ソリューション提案による新規の顧客開拓に努めた結果、鉄鋼向けプロセス薬品を中心に伸長。

→ 全体で受注高・売上高ともに増加。

## 海外 受注高・売上高

前期に実施した欧州のアルミナ化合物事業の譲渡の影響により受注高・売上高が減少。

前期の第4四半期に連結子会社となった米国のU.S.ウォーター・サービス, Inc.の水処理薬品事業の経営成績と今期の第1四半期に連結子会社となった米国のアビスタ・テクノロジーズ, Inc.および英国のアビスタ・テクノロジーズ(UK) Ltd.の経営成績を連結業績に加算。

→ 全体で受注高・売上高ともに増加。

## 営業利益

前期の欧州のアルミナ化合物事業に係る事業譲渡損失による減益要因の影響がなくなる。

→ 全体で増益。



## 水処理装置事業

(億円)

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	前年同期比
受注高	871	792	△9.1%
売上高	746	733	△1.8%
営業利益	58	121	+108.9%

## 国内 受注高・売上高

電子産業分野向けでは、前年同期の大型案件受注の反動で受注高が減少、受注残の工事進捗により売上高が増加。メンテナンス・サービスが顧客の生産能力増強に伴う受注により受注高・売上高ともに増加。

一般産業分野向けでは、電力分野向け水処理装置が前年同期の大型案件受注の反動で受注高が減少、受注残の工事進捗により売上高が増加。メンテナンス・サービスが前年同期の受注高・売上高増加の反動で受注高・売上高ともに減少。

土壌浄化の受注高・売上高は、大型案件が一巡し、ともに減少。

→ 全体で受注高が減少、売上高が増加。

## 海外 受注高・売上高

前期の第4四半期に連結子会社となった米国のU.S.ウォーター・サービス, Inc.の水処理装置事業の経営成績を連結業績に加算。

大型案件が一巡し売上高が減少。

→ 全体で受注高が増加、売上高が減少。

## 営業利益

超純水供給事業用設備の一部売却に伴う固定資産売却益を計上。

前年同期の生産がひっ迫した中で発生した一時的な追加原価の影響がなくなる。

→ 全体で増益。

## 子ども向け体験型学習イベントを開催

当社グループは持続可能な社会の実現に向け「科学技術の振興、人材の育成、人道的支援、地域コミュニティ活動」を中心とした社会貢献に取り組んでいます。その一環としてこの夏、日常生活で水が果たす役割や、限られた環境で水の大切さを学ぶ、2つの体験型学習イベントを開催しました。

当社グループは、未来を担う子どもたち向けに、このような「水と環境」を学ぶ機会を今後も提供し、水の大切さ、そして科学の面白さを伝えていきます。

### ▶ ふしぎなふしぎな水の世界 (2019年7月27日、28日)

日本科学未来館で開催した同イベントでは、ビッグサイズのお風呂や冷蔵庫が並ぶ空間で水に関するクイズを解く「参加型展示エリア」と、「ナゾトキpH」「水の正体は？」など実験プログラ



参加型展示エリアで目を引く大きなバスタブ

ムを体験する「実験教室」を実施。来場した約800名の子どもたちから「水を大切に使いたい」「水について知らないことが多かった」などの声が寄せられました。

### ▶ 宇宙 水再生研究所 (2019年8月26日～9月1日)

キッザニア東京に期間限定パビリオン「宇宙 水再生研究所」を設置し、宇宙空間で尿から再生水を造るアクティビティを展開。7日間の期間中、計152回の実験に880名の子どもたちが参加しま



いつの間にか実験に夢中になり、笑みもこぼれる

した。宇宙では宇宙飛行士たちの呼気や尿が貴重な水分となりますが、「青い水」を尿に見立て、イオン交換樹脂でろ過する実験を行いました。「水の色の変化に驚いた」「将来、こんな仕事をやってみたい」との感想が寄せられ、実験で使ったレポートを大切に持ち帰る子どもたちの姿が見られました。

## 新たに ESG インデックス構成銘柄へ組み入れ

2019年6月24日、当社は英国FTSE Russell社より「FTSE4 Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄として新たに採用されました。ほかにも当社は、ESG投資に関する代表的な株価指数として世界の投資家が着目する、「MSCI ACWI ESG Leaders Index」「MSCI World ESG Leaders Index」「MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)」「SNAMサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄として、昨年より継続して採用されています。

当社は、株主・投資家の皆様がESGを投資判断の基準とすることを尊重しており、ESG課題の解決に向けたグループ全体での活動内容を、ウェブサイトや広報物などで広く開示

しています。その取り組みが評価され、新たな組み入れにつながったと考えます。引き続きESGを含む社会課題の解決に取り組み、企業価値の向上をめざします。

### ▶ ESGインデックスへの組み入れ状況 (2019年10月現在)



※ 栗田工業株式会社がMSCIインデックスに含まれること、および本ページにおけるMSCIのロゴ・商標・サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社による栗田工業株式会社への後援・保証・販促には該当しません。  
MSCIの独占的所有権：MSCI、MSCIインデックス名およびロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

## 会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	栗田工業株式会社 (Kurita Water Industries Ltd.)
本社所在地	東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト
設立年月日	1949年7月13日
資本金	134億5,075万円
従業員数	1,622名 (連結6,868名)
ホームページアドレス	<a href="https://www.kurita.co.jp/">https://www.kurita.co.jp/</a>

## 取締役および監査役 (2019年9月30日現在)

取締役会長	飯岡 光一
代表取締役社長	門田 道也
代表取締役専務取締役	伊藤 潔
常務取締役	兒玉 利隆
常務取締役	山田 義夫
常務取締役	江尻 裕彦
取締役	小林 敏美
取締役	鈴木 恭男
取締役	森脇 亞人
取締役	杉山 涼子
取締役	田中 徑子
監査役	小林 賢次郎
監査役	武藤 幸彦
監査役 (非常勤)	鳥飼 重和

(注) 1. 取締役のうち、森脇亞人、杉山涼子および田中徑子は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

2. 監査役のうち、小林賢次郎および鳥飼重和は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## グループネットワーク (2019年9月30日現在)

国内	当社および子会社28社の合計29社で構成されており、全国を網羅する販売・サービス網により、水処理に関する商品・技術・サービスを幅広く提供しています。
海外	子会社40社および関連会社6社の合計46社で構成されており、グローバル事業の拡大に向けて世界各地域で事業を展開しています。

本株主通信に関するお問い合わせ先 経営管理本部 広報・CSR部 IR・SR課  
TEL : 03-6743-4389  
<https://ir.kurita.co.jp/>

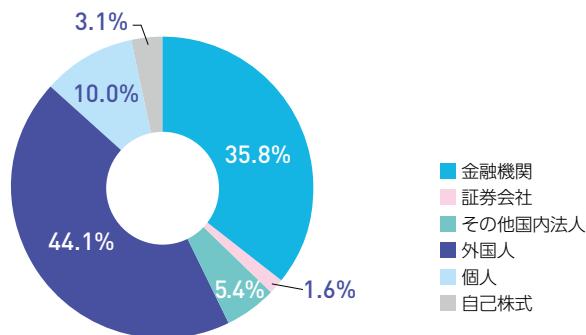
## 株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	531,000,000株
発行済株式の総数	116,200,694株
株主数	22,884名

## 大株主 (2019年9月30日現在)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	7,937,400	6.83
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	6,674,400	5.74
日本生命保険(相)	5,979,883	5.14
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	3,660,400	3.15
栗田工業(株)	3,591,085	3.09
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	2,167,400	1.86
東京海上日動火災保険(株)	2,155,826	1.85
(株)三菱UFJ銀行	2,056,131	1.76
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES PARIS / JASDEC FRENCH RES / UCITS ASSETS	1,786,000	1.53
ジェーピー モルガン チェース バンク 385151	1,784,772	1.53

## 所有者別株式分布状況 (2019年9月30日現在)



# 株主インフォメーション

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当 毎年3月31日
	中間配当 毎年9月30日
	(そのほか臨時に必要があるときにあらかじめ公告いたします。)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ( <a href="https://ir.kurita.co.jp/">https://ir.kurita.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	6370

株主名簿管理人および 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
株主名簿管理人 事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
同連絡先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 <b>電話：0120-782-031 (フリーダイヤル)</b> 受付時間：平日9：00から17：00まで

## 住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定について

証券会社等の口座をお持ちの株主様 ▶ 口座を開設されている証券会社等までお問い合わせください。

特別口座をお持ちの株主様 ▶ 上記連絡先 (三井住友信託銀行株式会社) までお問い合わせください。

## 未受領の配当金のお受け取りについて

まだ受け取られていない配当金がある場合は、お早めに上記連絡先 (三井住友信託銀行株式会社) までお問い合わせください。

## 配当金計算書について

「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告の添付資料としてご使用いただけます。

株式数比例配分方式  
をご選択いただいている株主様 ▶ 源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。  
確定申告の添付資料につきましては、お取引先の証券会社等にご確認ください。

「配当金領収証」にて  
配当金をお受け取りの株主様 ▶ 配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封しております。



クリタグループは賛同しています。



この冊子は適切に管理された森林 (FSC® 認証林) およびその他の管理された供給源からの原材料で作られたFSC® 認証紙に、植物油インキを使用して印刷しています。